

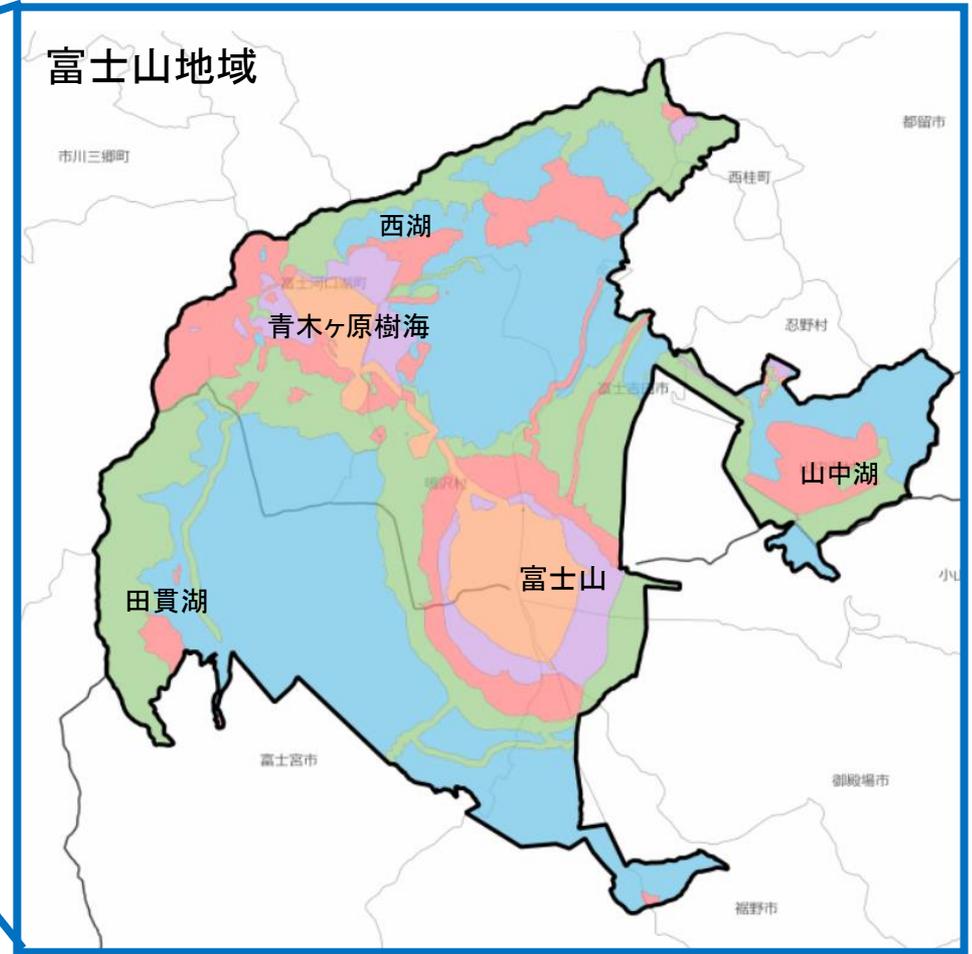
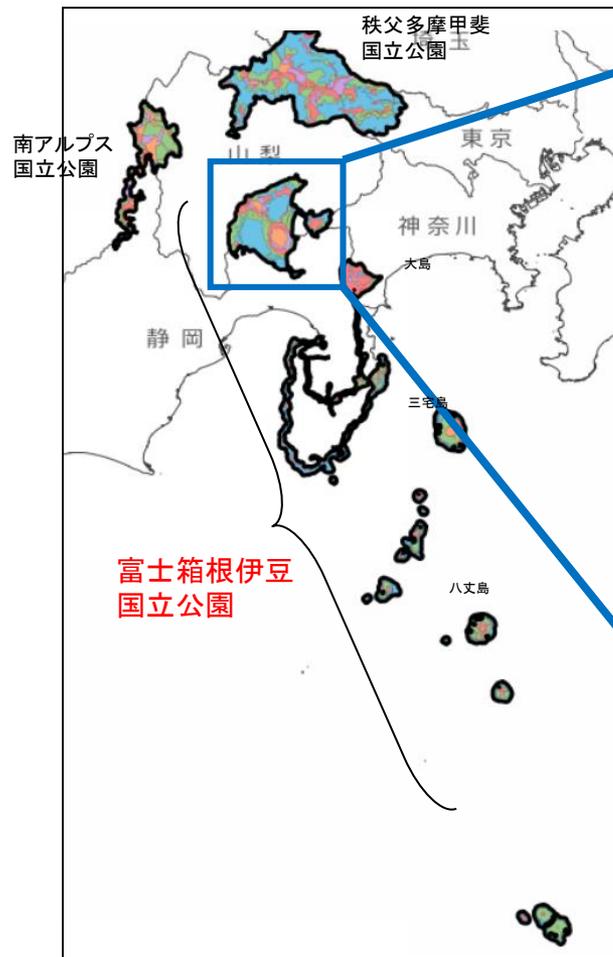
富士箱根伊豆国立公園 富士山地域

公園区域及び公園計画の変更
(第2次点検)

富士箱根伊豆国立公園 富士山地域の概要

指定
面積

昭和11年2月1日（富士箱根国立公園）
121,695ha（うち、60,645haが富士山地域）



富士箱根伊豆国立公園 富士山地域の概要



西湖と富士山



青木ヶ原樹海

『太平洋の島々から霊峰富士を繋ぐ一大火山群
～火山地形と文化が創り出す多様な景観～』



富士講



小富士から富士山を望む

富士山地域の公園計画等変更経緯

昭和11年(1936年) 富士箱根国立公園指定

昭和30年(1955年) 富士箱根伊豆国立公園へ名称変更
(伊豆半島地域の拡張に伴う)

平成3年(1991年) 乗入れ規制地区の指定(一部変更)

平成8年(1996年) 富士山地域 再検討の実施

平成18年(2006年) 公園計画第1次点検

H25(2013)
世界文化遺産
登録

平成30年(2018年) 公園計画第2次点検(今回)

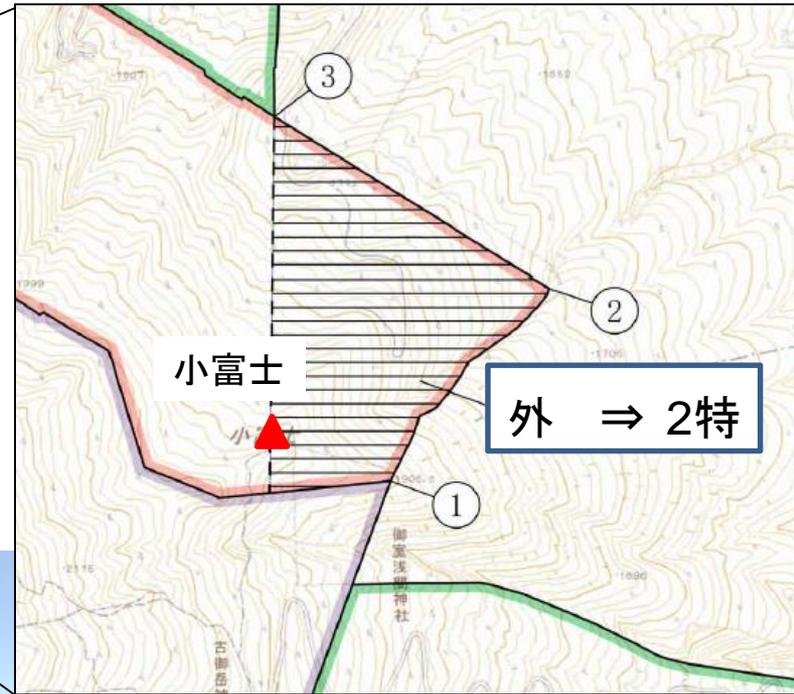
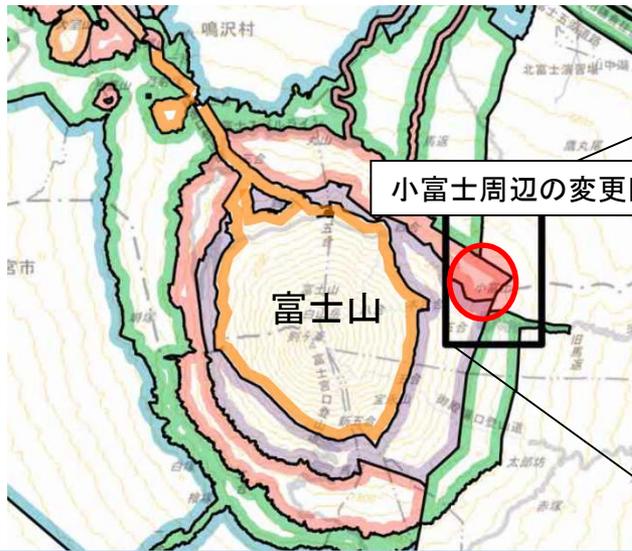
今回変更の重要ポイント

- ① 小富士周辺の公園区域への編入（公園区域の変更、車馬等乗入れ規制）
富士山麓に位置する“小富士”の風致の保全を図るため公園区域に編入し、車馬等乗入れ規制地区を指定する。
- ② 西湖における動力船等の乗入れ規制（車馬等乗入れ規制）
富士五湖の1つである“西湖”において、希少な動物の保全及び静穏の確保のため、プレジャーボートをはじめとした動力船等の乗入れを規制する区域の指定。
- ③ 利用施設計画の新規追加等
近年の利用の動向を踏まえ、新たに利用施設計画を位置づけ、又は必要な路線等を追加する。
また、これまで計画されていた施設について、今後の利用の見通し等を踏まえて削除を行う。

- ① 小富士周辺の公園区域への編入
(公園区域の変更、車馬等乗入れ規制)

富士箱根伊豆国立公園 今回点検について

① 小富士周辺の公園区域への編入 (公園区域の変更、車馬等乗入れ規制)



現状、“小富士”の山頂を分断する形で公園境界が引かれているが一体的に風景地の保護を図るため、公園区域に編入。

併せて、オフロードバイク等の乗入れ規制を計ることを目的として、富士山周辺における乗入れ規制区域を当該拡張地域についても拡張。

富士箱根伊豆国立公園 今回点検について

① 小富士周辺の公園区域への編入 (公園区域の変更、車馬等乗入れ規制)



オフロードバイク跡



小富士周辺の様子



② ^{さいこ}西湖における動力船等の乗入れ規制
(車馬等乗入れ規制)

富士箱根伊豆国立公園 今回点検について

② 西湖における動力船等の乗入れ規制 (車馬等乗入れ規制区域の指定)



湖畔のキャンプ場



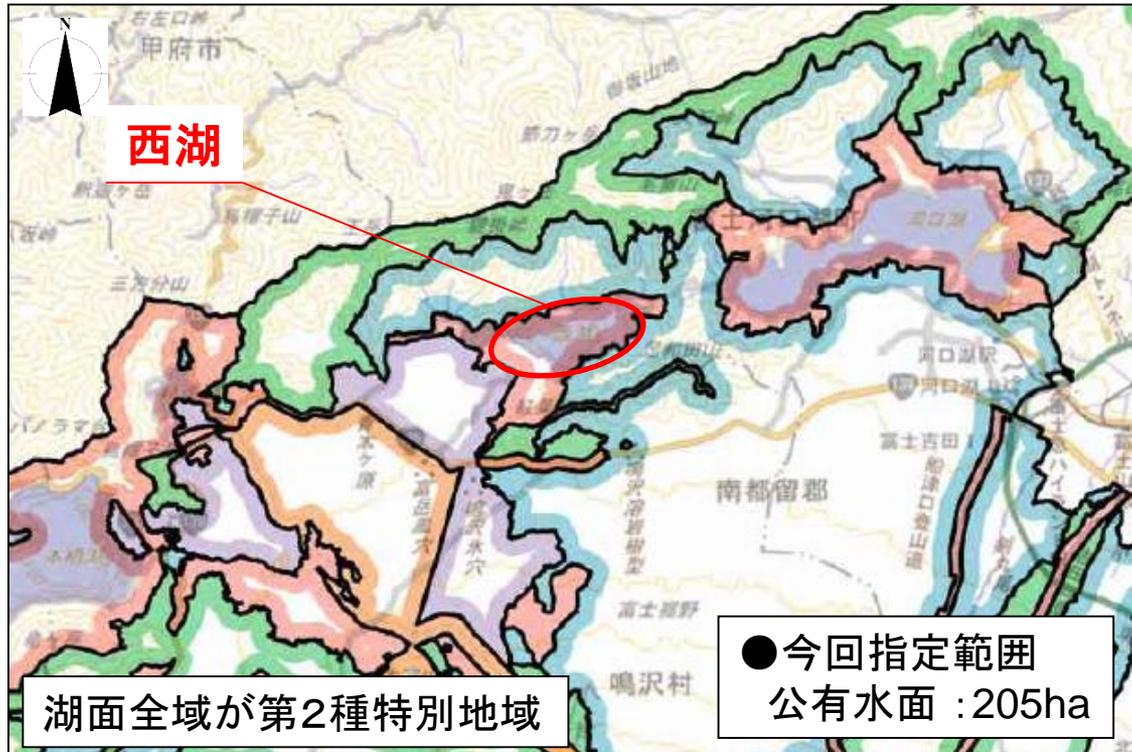
西湖の遊漁風景



西湖に生息していたクニマス
(平成22年生息確認)

富士箱根伊豆国立公園 今回点検について

② 西湖におけるプレジャーボート等の乗入れ規制 (乗入れ規制区域の指定)



- 自然環境**
- 富士五湖の中では比較的きれいな水質
 - 山に囲まれた静かな環境

⇒ **山梨県条例** **漁協の自主ルール**
(船舶・航行の届出制、一定程度の静穏確保)
持ち込みボート等への対応が必要

強化

プレジャーボート等の動力船の乗入れを規制する区域を指定(乗入れ規制区域の指定)

③ 利用施設計画の新規追加等 (利用施設の追加・削除など)

【今回変更等案件:計21件】

- 単独施設 新規:4件、削除:7件
- 道路(車道・歩道)事業 追加:1件、削除:5件、変更4件

【**重点的にご説明:4件**】

- 単独施設 **新規:3件**
- 道路(歩道) **追加1件**

富士山5合目以上の利用集中が課題

富士**山麓**の利用促進

富士箱根伊豆国立公園 今回点検について

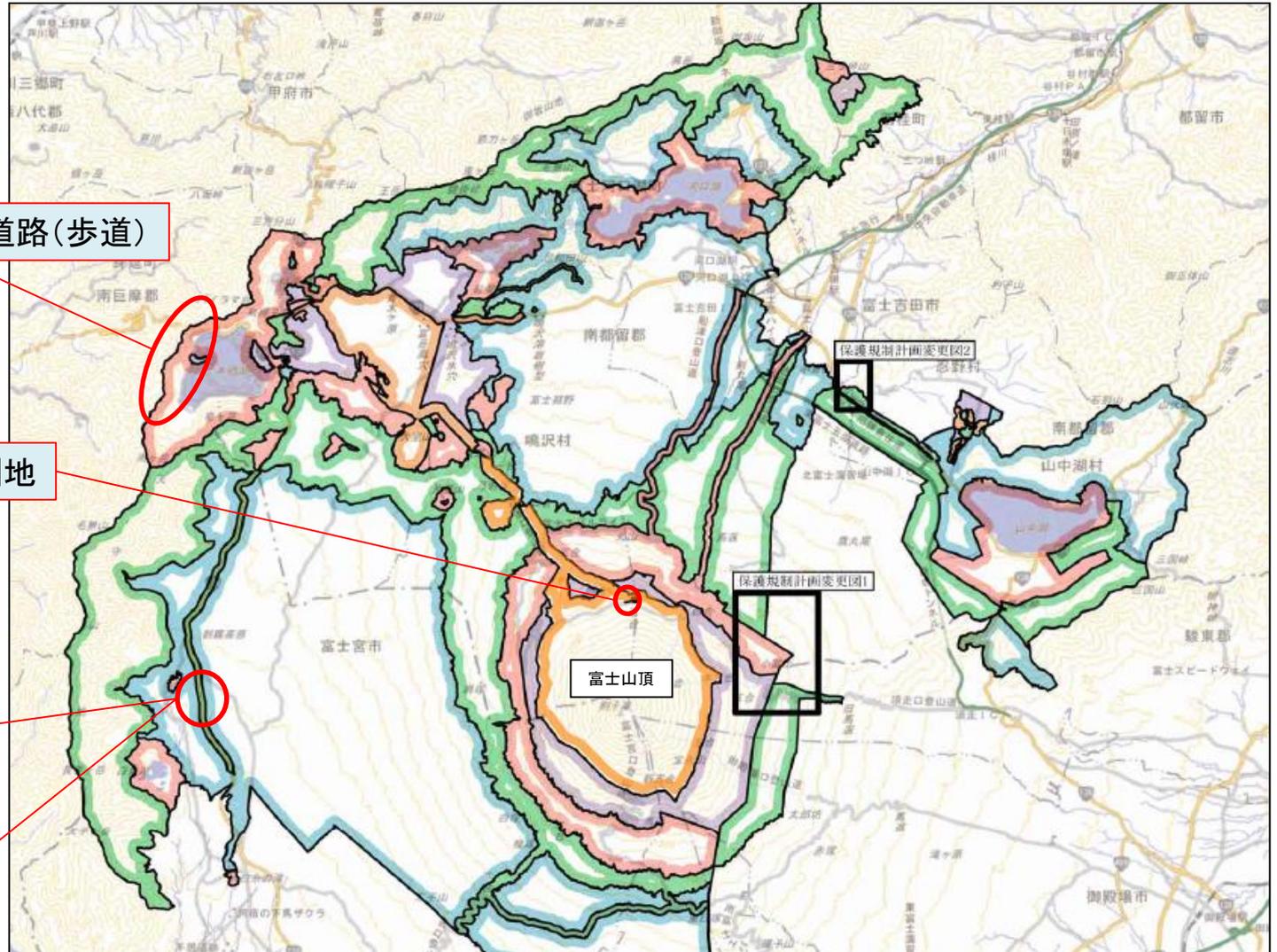
③ 富士山麓周辺の利用施設の位置づけ (利用施設の追加・削除など)

中ノ倉雨ヶ岳線道路(歩道)

精進口五合目園地

猪之頭人穴道
(野営場)

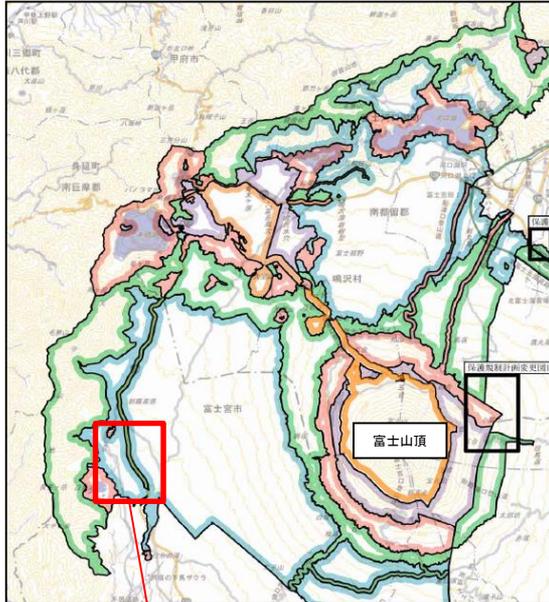
猪之頭人穴道
(園地)



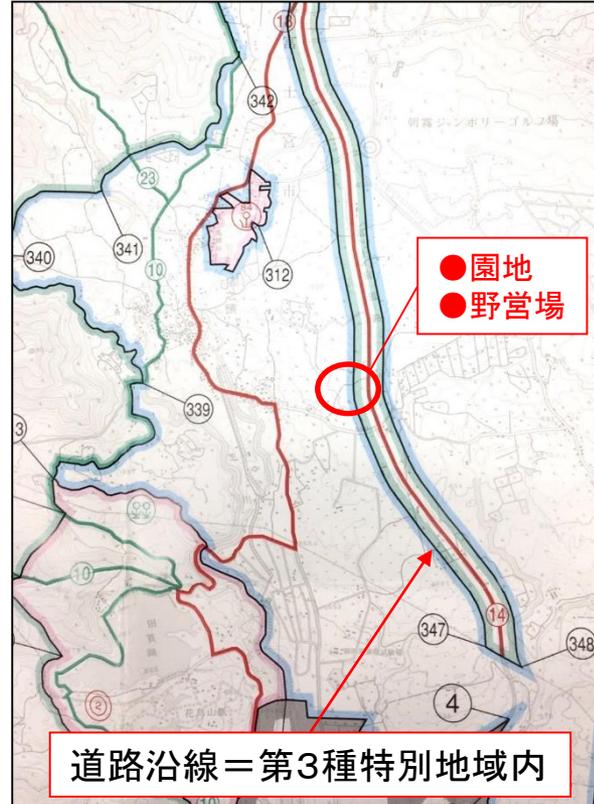
富士箱根伊豆国立公園 今回点検について

③ 利用施設計画の新規追加等（利用施設の追加・削除など）

●猪之頭人穴道（野営場・園地：新規）



猪之頭人穴道
（野営場・園地）



富士パノラマライン沿い



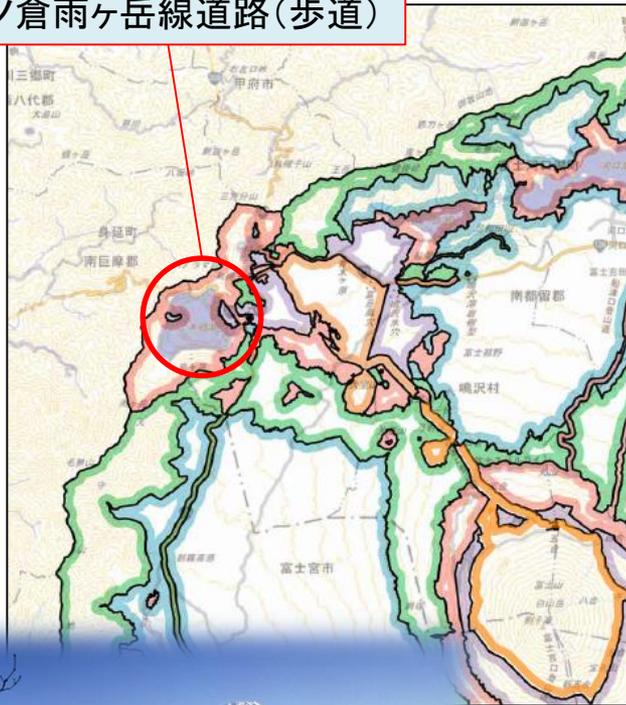
- 富士パノラマライン沿いの第3特特別地域内に位置する。
- 豪華なキャンプ＝“グランピング”の実施を計画
- 富士山麓の利用促進の観点からも重要な利用拠点へ

富士箱根伊豆国立公園 今回点検について

③ 利用施設計画の新規追加等（利用施設の追加・削除など）

● 中ノ倉雨ヶ岳線道路（歩道：追加）

中ノ倉雨ヶ岳線道路（歩道）



中之倉峠
（ビューポイント）

地域の拡張

計画再検討
変更（点検）

今回追加路線

雨ヶ岳

本栖湖



中ノ倉から望む富士
（千円札紙幣）

・富士山を眺望する主要な展望地点として中之倉峠が位置づけられ、主要な展望地を通過する利用道路として利用

富士箱根伊豆国立公園 今回点検について

③ 利用施設計画の新規追加等（利用施設の追加・削除など）

●精進口五合目（園地：新規）



- ・富士スバルラインの終点に位置する精進口五合目。
- ・富士登山の拠点で、これまで県が設置していた休憩所において既存施設の撤去を行い、今後、園地を整備する計画



園地を整備を想定する地区



富士箱根伊豆国立公園 今回点検について

精進口五合目周辺の将来イメージ

園地事業想定地域



園地整備のイメージ



現在のバスターミナルの様子

その他の変更について

① 区域線の明確化

境界が不明確な地点について、より明確な区域線をひく。

② 既存利用施設の一部変更及び廃止など

- ・既存路線の把握
- ・未執行及び今後も見込みがない利用施設の廃止

【今回変更等案件:計21件】

- 単独施設 新規:4件、削除:7件
- 道路(車道・歩道)事業 追加:1件、削除:5件、変更4件

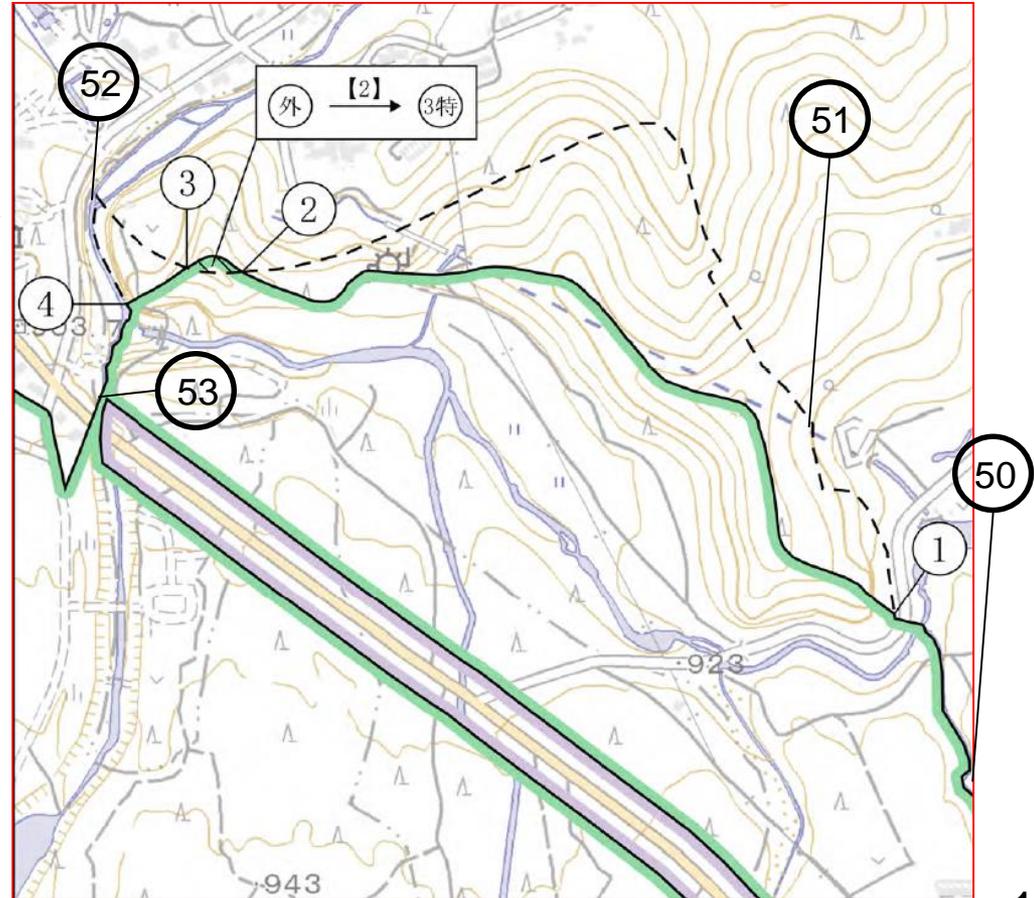
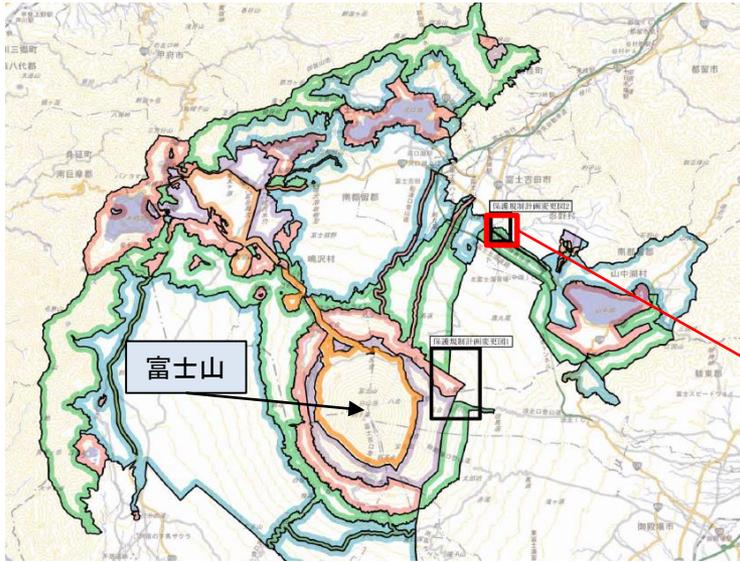
【軽微な変更:17件】

- 単独施設 新規:1件(既存施設の把握)、削除7件(必要性がなくなったため)
- 道路(車道・歩道):削除5件(必要性がなくなったため)、変更4件(軽微)

富士箱根伊豆国立公園 その他の変更点

① 区域線の明確化

- 区域線が不明確で現地の境界判断が難しい箇所において、稜線界に変更することで明確化
⇒ 結果的に△9ha



【現行】(破線)

50-51 沢界

51-52 地番界

52-53 河川敷(除)界

不明確

【変更】(実線)

②-③ 稜線界

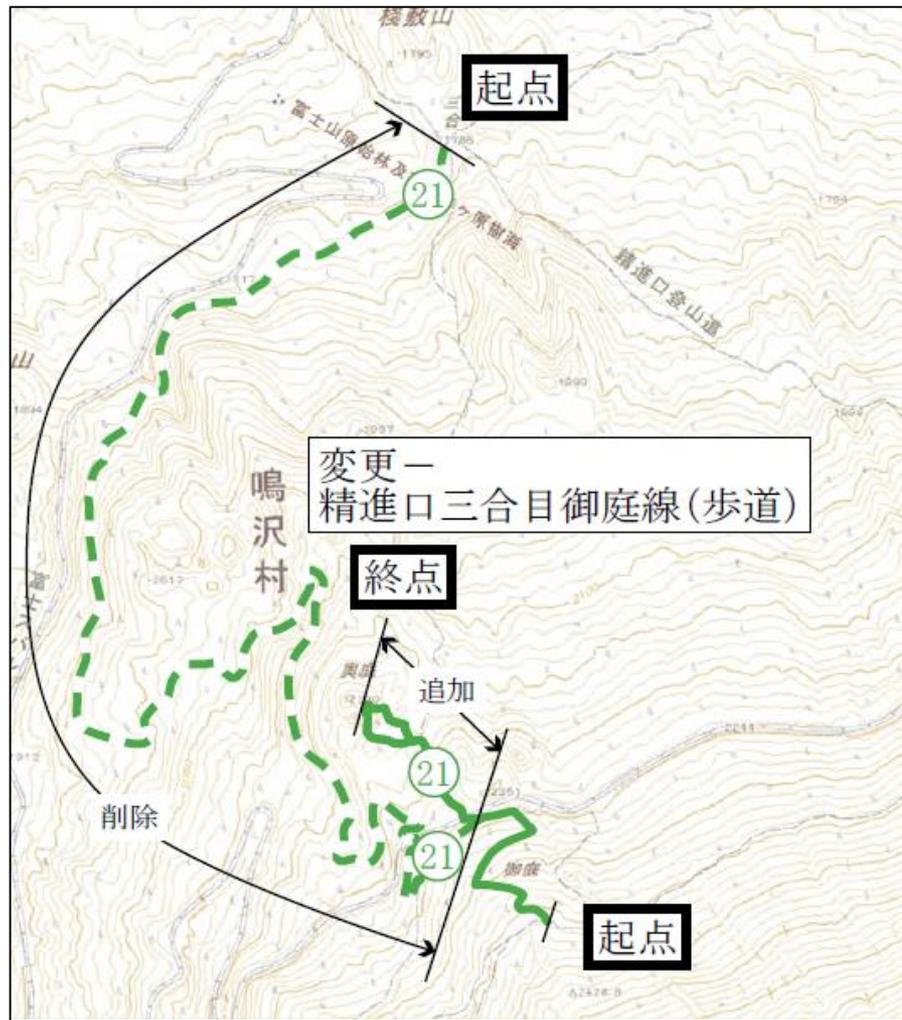
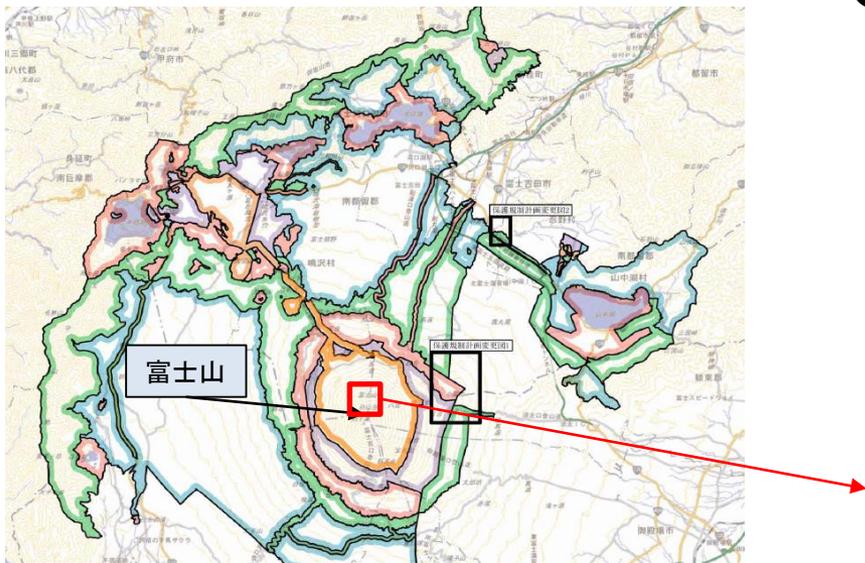
①-② 稜線界

③-④ 稜線界

富士箱根伊豆国立公園 その他の変更点

② 既存利用施設の一部変更及び廃止など

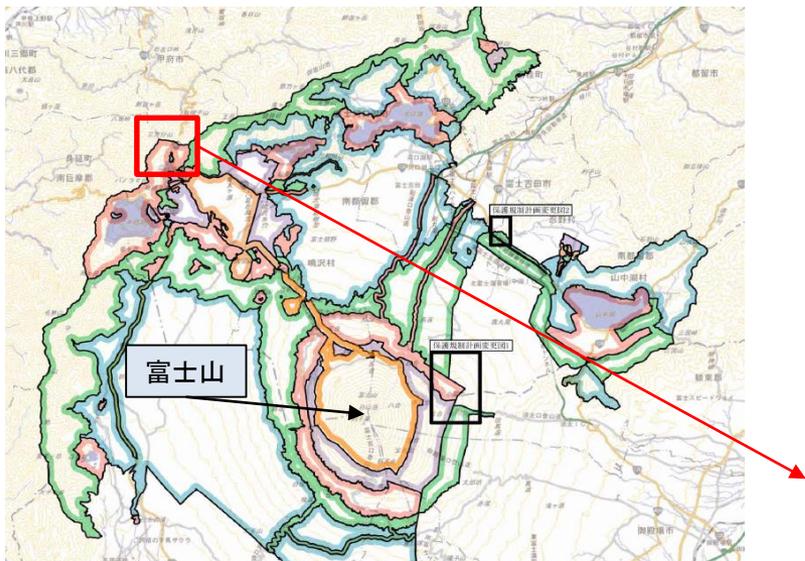
- 登山道ルートの一部変更
(実際に使われているルートを踏襲)



富士箱根伊豆国立公園 その他の変更点

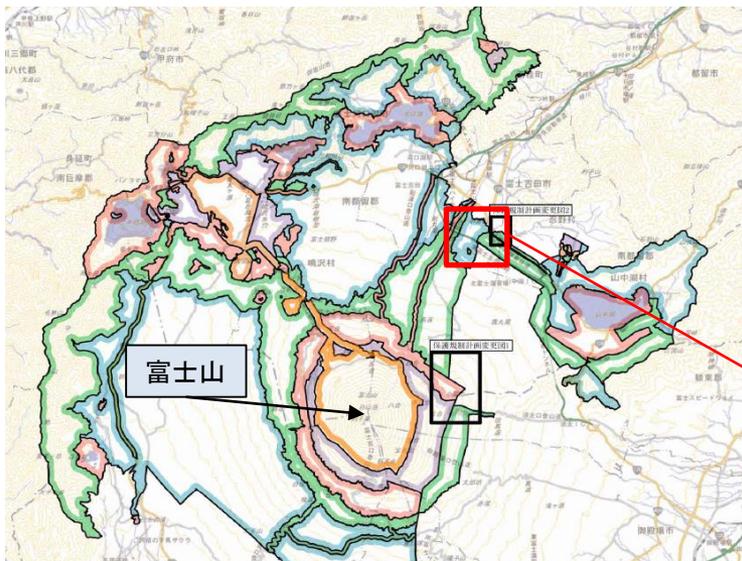
② 既存利用施設の一部変更及び廃止など

- 登山道ルートの一部変更
(整備の見込みもないルートの削除)

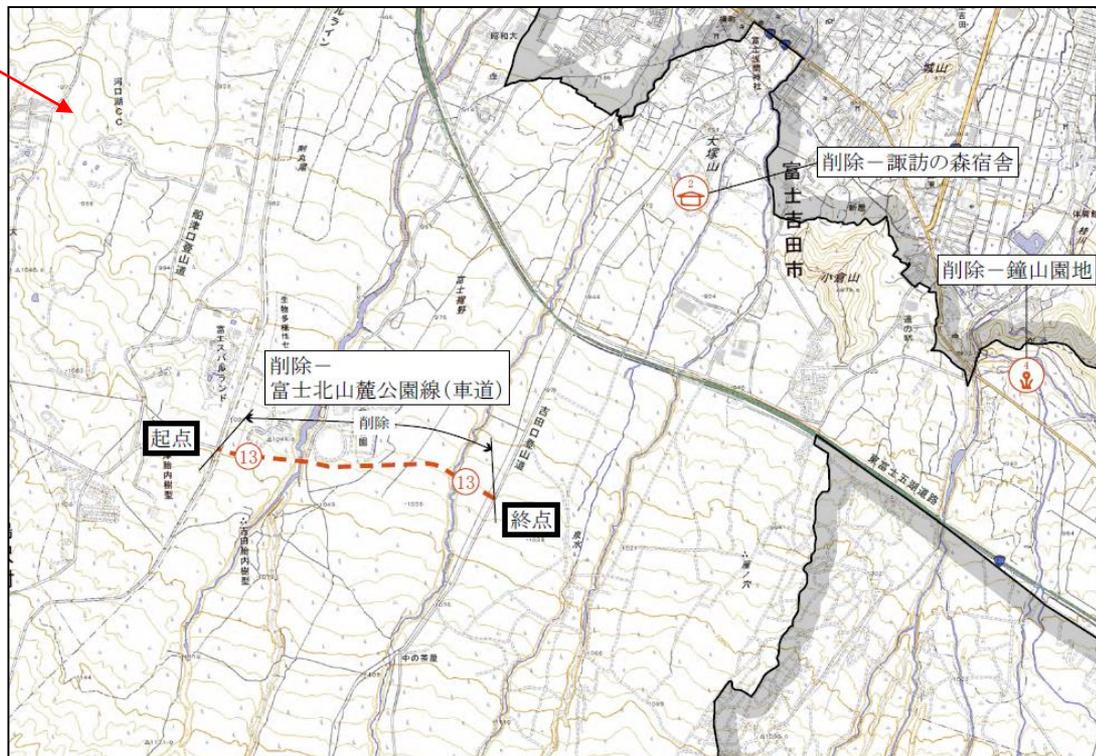


富士箱根伊豆国立公園 その他の変更点

② 既存利用施設の一部変更及び廃止など

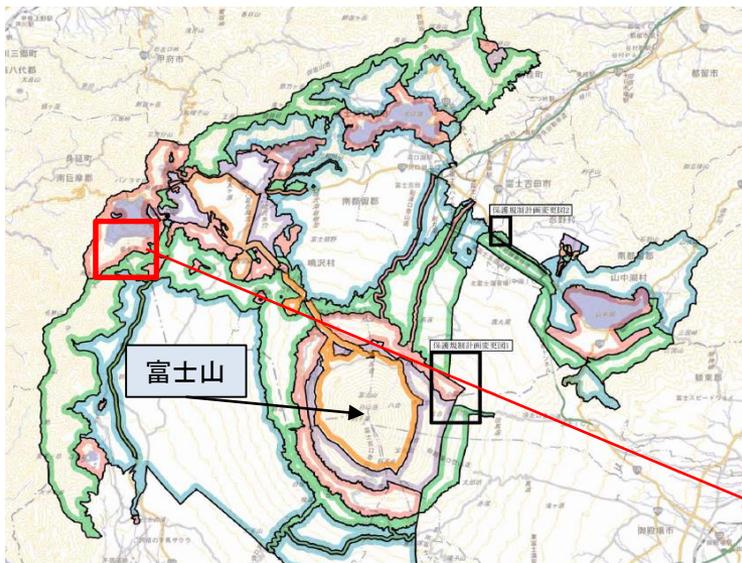


- 車道の削除
(バイパスルートの公園事業からの削除)



富士箱根伊豆国立公園 その他の変更点

② 既存利用施設の一部変更及び廃止など

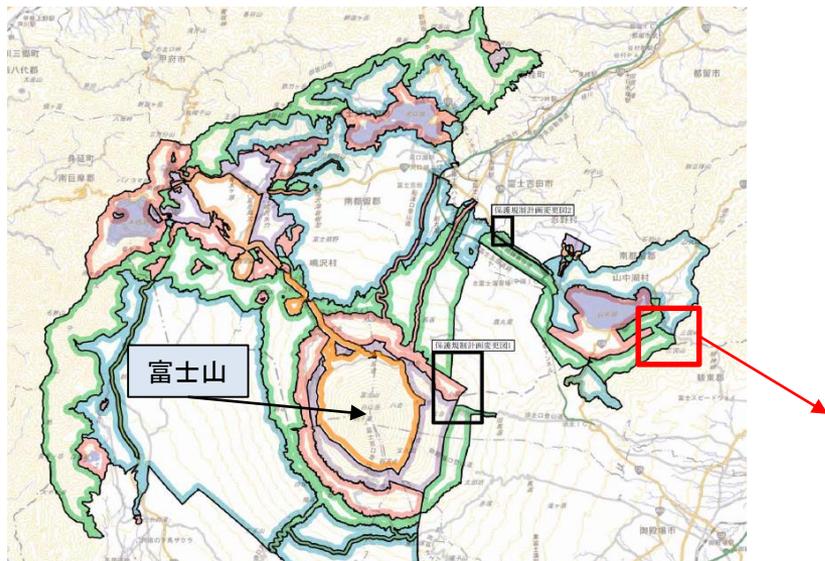


- 登山道ルートの一部変更
(整備の見込みがないルートの削除
既存利用ルートの追加)

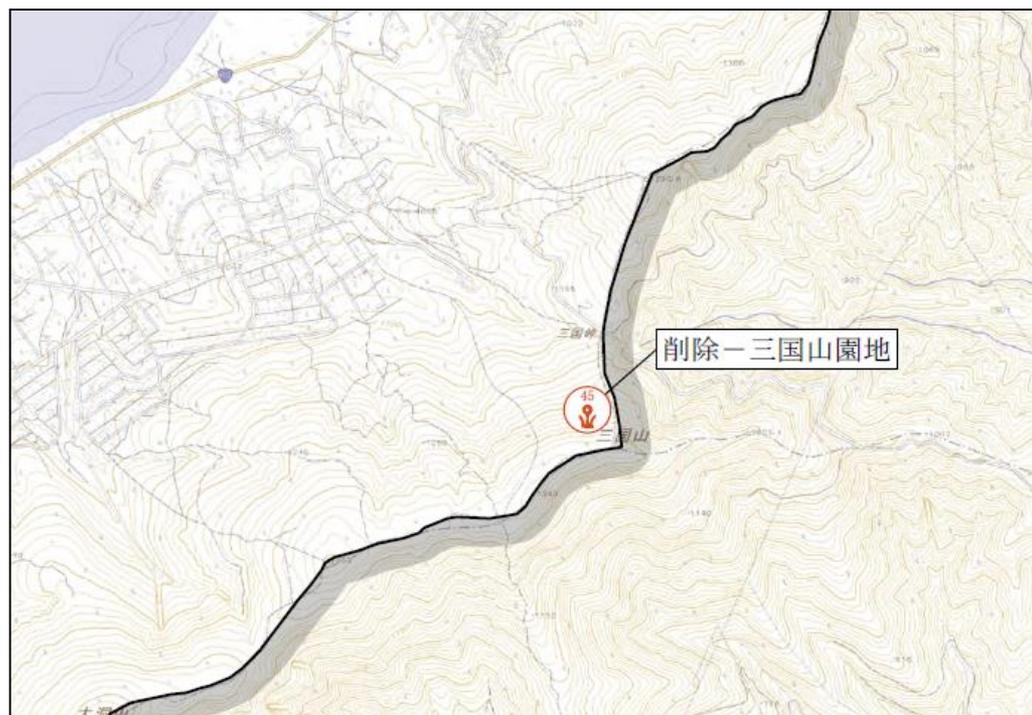


富士箱根伊豆国立公園 その他の変更点

② 既存利用施設の一部変更及び廃止など

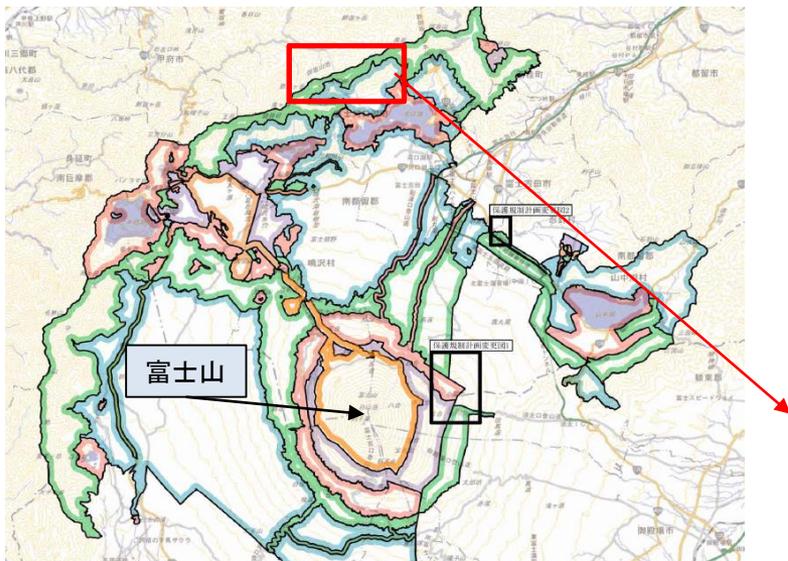


- 単独施設の削除
(整備の見込みがない園地の削除)



富士箱根伊豆国立公園 その他の変更点

② 既存利用施設の一部変更及び廃止など

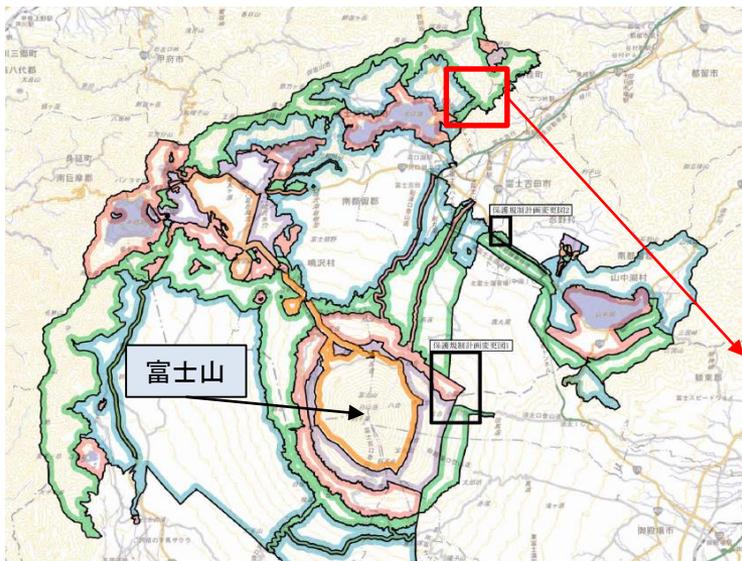


- 登山道ルートの一部変更
(整備の見込みもないルートの削除)

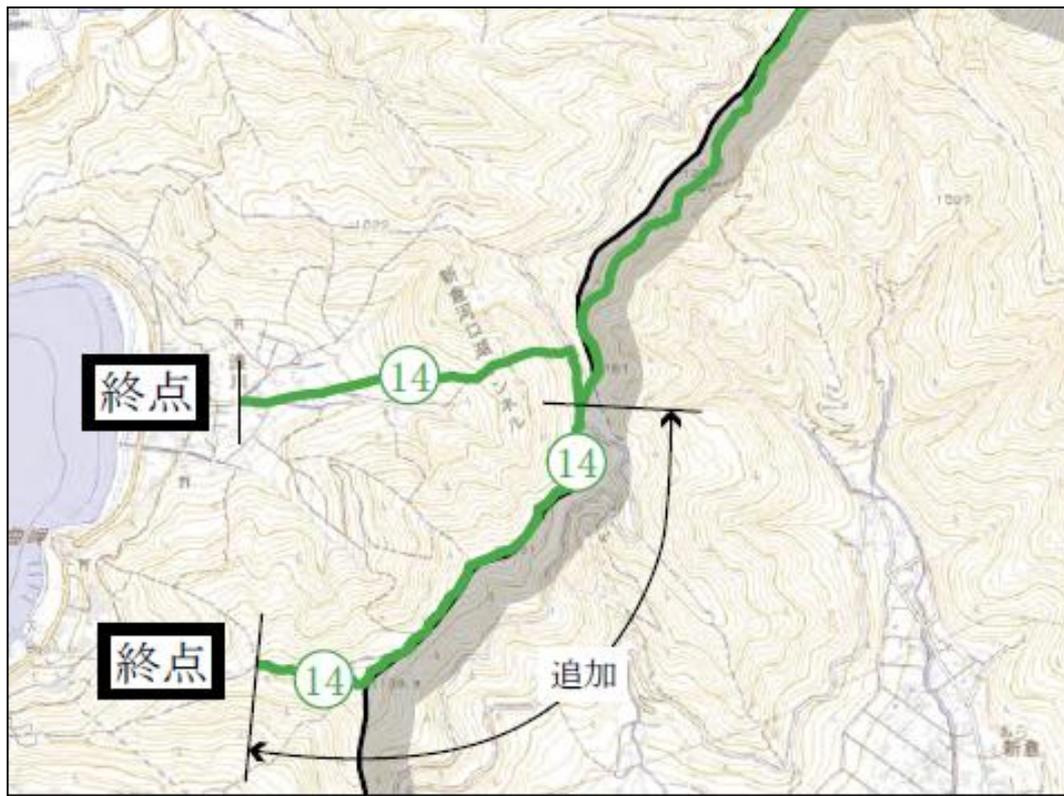


富士箱根伊豆国立公園 その他の変更点

② 既存利用施設の一部変更及び廃止など

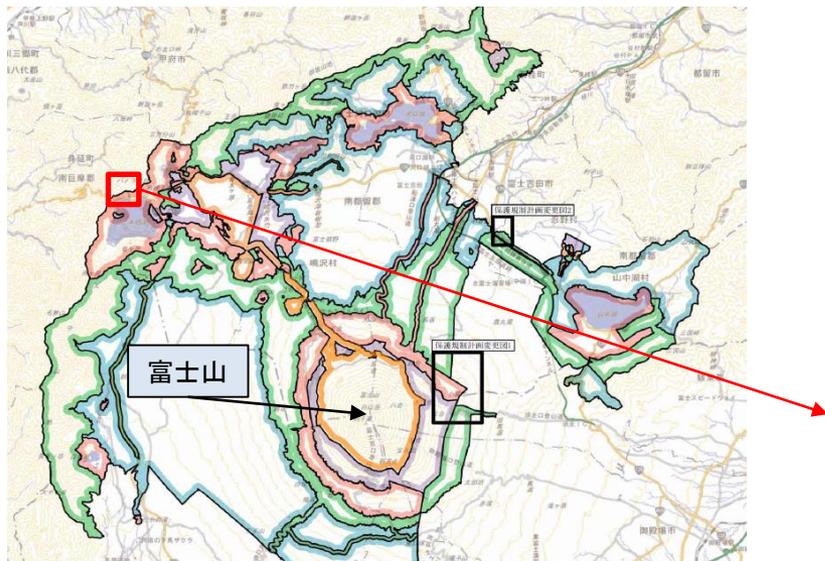


- 登山道ルートの一部変更
(実際に使われているルートを踏襲)



富士箱根伊豆国立公園 その他の変更点

② 既存利用施設の一部変更及び廃止など



- 登山道ルートの一部変更
(実際に使われているルートを踏襲)



パブリックコメントの実施結果

■概要

・実施期間 平成29年11月9日(木)～12月8日(金)

・意見募集の結果

【意見提出数】

電子メール、郵送、FAX 計 1 通

【整理した意見数】

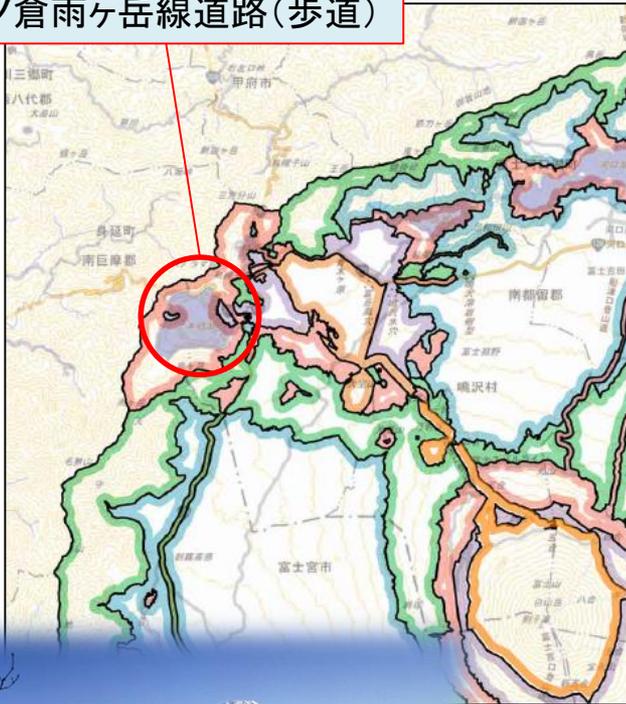
今回の指定案にかかるもの 計 0 件

富士箱根伊豆国立公園 今回点検について

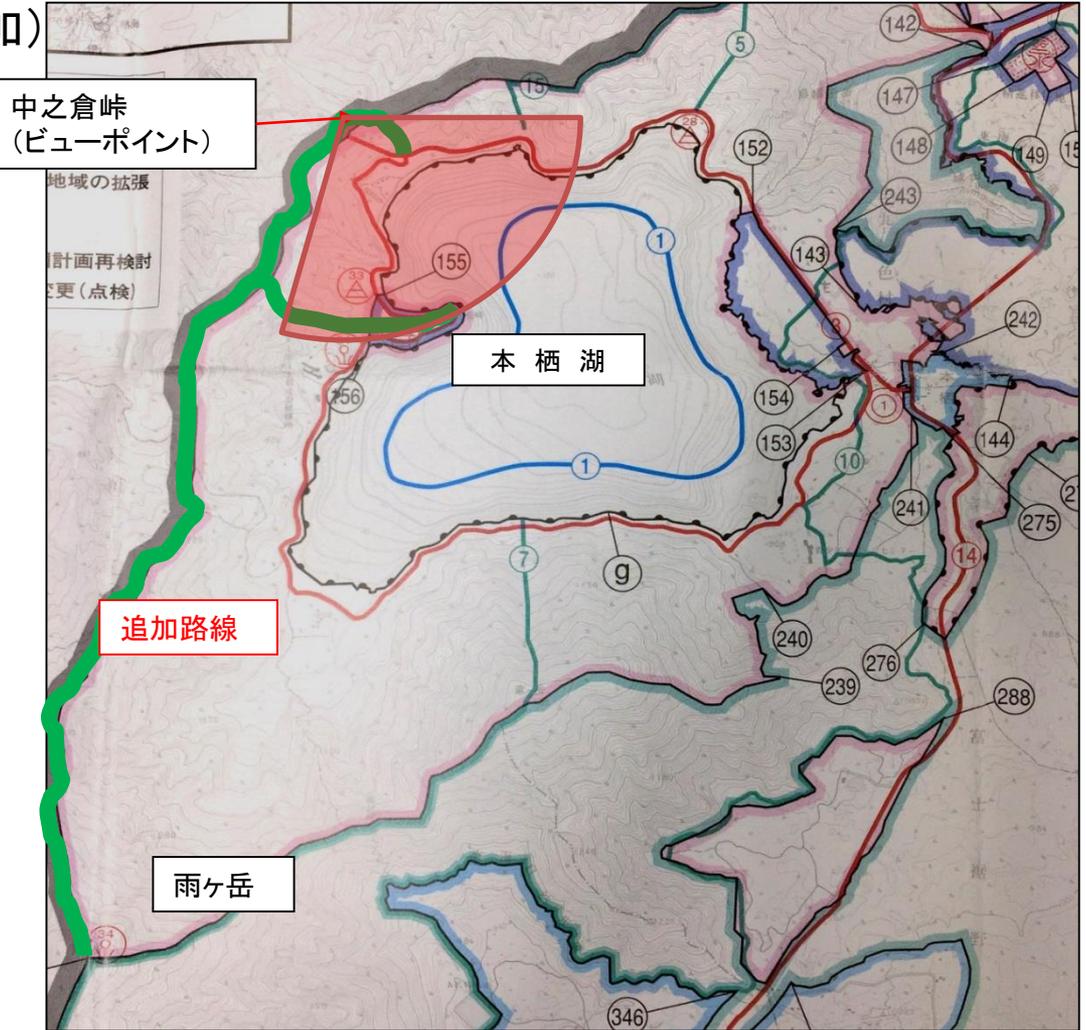
③ 利用施設計画の新規追加等（利用施設の追加・削除など）

● 中ノ倉雨ヶ岳線道路（歩道：追加）

中ノ倉雨ヶ岳線道路（歩道）



中ノ倉から望む富士
（千円札紙幣）



・富士山を眺望する主要な展望地点として中之倉峠が位置づけられ、主要な展望地を通過する利用道路として利用